

神奈川県内広域水道企業団 —令和4年度予算(案)の概要について—

1 令和4年度予算(案)について

令和4年度は、「かながわ広域水道ビジョン(令和3年度から概ね30年)」に掲げた3つの取組みを推進するため、「実施計画(令和3～7年度)」の各事業を着実に実施してまいります。

- 「最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理の取組み」として、浄水場の増強や送水管路の整備に向けた検討、上流水利権の有効活用等を進めます。
- 「自然災害や多様なリスクへの対応強化の取組み」として、主要施設の地震対策、浸水対策、停電対策等を進めます。
- 「経営基盤強化の取組み」として、長期的視点に立った財政運営、今後の事業展開を見据えた人材育成、業務の効率化や新しい働き方実現のためのDX実行計画の策定等を進めます。

2 令和4年度の予算規模について

令和4年度の予算規模は、対前年度比で17億8,576万余円減(2.8%減)の631億3,545万余円となっています。

予算規模(対前年度比較)

(単位:千円、%)

区分	令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算(案)	対前年度		
			増減額	増減率	
支出	収益的支出	41,575,657	40,651,173	△924,484	△2.2
	資本的支出	23,345,562	22,484,279	△861,283	△3.7
	計	64,921,219	63,135,452	△1,785,767	△2.8
財源内訳	料金収入	42,467,549	42,522,863	55,314	0.1
	企業債	2,561,000	2,592,000	31,000	1.2
	補助金	114,108	184,149	70,041	61.4
	その他資本的収入	110	0	△110	皆減
	自己資金	19,778,452	17,836,440	△1,942,012	△9.8
	計	64,921,219	63,135,452	△1,785,767	△2.8

3 令和4年度予算(案)の特徴

令和4年度予算では、減価償却費及び支払利息等の減により、損益は対前年度比8億円増の49億円を見込んでいます。

また、累積資金残高は、対前年度比6億円減の81億円を見込んでいます。

企業債は、順調に償還が進んでおり、残高は対前年度比118億円減の685億円を見込んでいます。

一方、今後は最適な水道システムの実現に向けた施設整備に多額の費用が必要であることが見込まれており、財政運営は厳しさが増すものと想定しています。

項目	令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算(案)	対前年度	
			増減額等	増減率
年間供給水量	4.8億 ^m ₃	4.8億 ^m ₃	0.02億 ^m ₃	0.4%
料金収入	425億円	425億円	0.6億円	0.1%
損益	41億円	49億円	8億円	19.6%
累積資金残高	87億円	81億円	△6億円	△7.1%
企業債残高	803億円	685億円	△118億円	△14.7%

4 予定供給水量

令和4年度の年間供給水量は、対前年度比0.4%増の4億8,420万余立方メートルを予定しており、うち直営事業は、対前年度比0.5%減の3億6,402万余立方メートルを予定しています。

予定供給水量内訳

(単位: ^m₃)

区分		令和3年度(A)	令和4年度(B)	増減(B-A)	前年比
年間供給水量		482,198,500	484,201,000	2,002,500	0.4%
事業別	直営事業	365,999,400	364,028,700	△1,970,700	△0.5%
	寒川事業	116,199,100	120,172,300	3,973,200	3.4%
団体別	神奈川県	186,519,300	182,462,500	△4,056,800	△2.2%
	横浜市	194,545,000	189,070,000	△5,475,000	△2.8%
	川崎市	87,235,000	99,791,000	12,556,000	14.4%
	横須賀市	13,899,200	12,877,500	△1,021,700	△7.4%

5 予算規模と収支の状況

※ 丸囲数字は下表の丸囲数字と突合

○ 予算規模	631億円	(対前年度予算比	18億円減少)	①+③
○ 損益	49億円	(対前年度予算比	8億円増加)	②
○ 累積資金残高	81億円	(対前年度予算比	6億円減少)	④
○ 企業債残高	685億円	(対前年度予算比	118億円減少)	⑤

令和4年度予算・要素別内訳

(単位:百万円)

区 分		令和3年度 当初予算 (A)	令和4年度 当初予算(案) (B)	増減額 (B-A)
収益的 収支	収益的収入	46,395	46,297	△ 98
	用水供給料金	42,468	42,523	55
	その他	3,927	3,774	△ 154
	収益的支出	41,576	40,651	△ 924 ①
	職員費	3,225	3,251	26
	維持管理費等	18,735	18,996	261
	減価償却費等	17,936	17,094	△ 842
	支払利息等	1,680	1,311	△ 369
	収益的収支差額	4,819	5,646	826
損 益	4,145	4,958	814 ②	
資本的 収支	資本的収入	2,675	2,776	101
	企業債	2,561	2,592	31
	その他	114	184	70
	資本的支出	23,346	22,484	△ 861 ③
	一般建設改良費	8,101	8,088	△ 13
	企業債償還金	15,230	14,385	△ 845
	その他	15	12	△ 3
資本的収支差額	△ 20,670	△ 19,708	962	
累積資金残高	8,677	8,063	△ 614 ④	
企業債残高	80,273	68,480	△ 11,793 ⑤	

※ 端数処理の関係から、合計額等が一致しない場合があります。

令和4年度予算における主な取組み

「かながわ広域水道ビジョン」に示す3つの取組みの方向性に基づき、実施計画に定める取組みを着実に実施します。

※（ ）内は前年度の額を示す

(新)：新規事業

1 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理の取組み 84億2,448万円(85億7,645万円)

より安全で効率的な水道システムに向けた施設整備・運用を進めるとともに、施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新を実施します。

① 浄水場の増強と送水管等の整備 1,762万円

- ▶ 将来の構成団体浄水場の廃止を見据え、企業団浄水場の増強に向けた検討を進めます。
- ▶ また、企業団浄水場から新たな供給エリアに向けた送水管整備の検討を進めます。

【取組内容】

綾瀬浄水場の増強基礎調査

(新) 新たな送水管整備の検討

② 安定的かつ効率的な水運用と原水の確保 9億2,176万円

ア 堆砂対策 7億9,149万円

- ▶ ダムの貯水機能、堰の取水機能を維持するため、堆砂対策を継続します。

【取組内容】

三保ダム及び宮ヶ瀬ダムの堆砂対策

飯泉取水堰及び相模大堰の堆砂対策

イ 上流水利権の有効活用 1億3,027万円

- ▶ より安定的な取水を行うとともに、環境負荷の低減や動力費の削減を図るため、企業団及び4構成団体の合意に基づき、川崎市が沼本地点に保有する既存水利権の一部について、有効活用に向けた取組みを進めます。

※【二酸化炭素排出量削減効果】△約9,100t-CO₂/年

※【電力使用量削減効果】△約2,000万kWh/年(△3億6,800万円/年)

【取組内容】

(新) 沼本ダム、津久井導水路等の施設利用に係る費用負担

③ 効率的な点検と計画的な修繕・更新

74億1,119万円

ア 設備修繕

22億4,600万円

- ▶施設の保全を図るため、各浄水場・取水管理事務所の電気・機械設備等について、計画的に修繕を行います。

【取組内容】

西長沢浄水場排水処理脱水機の修繕 他

イ 施設更新

48億8,296万円

- ▶施設の老朽化に適切に対応するため、更新周期に基づき計画的な施設更新・改良に取り組みます。
- ▶また、事業の平準化や事業計画等の見直しの効率化を図るため、施設管理システムのアセットマネジメント機能を拡張します。

【取組内容】

綾瀬浄水場送水ポンプ所速度制御装置の更新

Ⓝ西長沢浄水場第3ブロック沈でん池傾斜板の更新

Ⓝ施設管理システムの改良（国庫補助事業） 他

ウ 管路保全・更新

2億7,475万円

- ▶導送水路線の延命化を図るため、マクロセル腐食防止装置の設置や、既設管路の更新に向け、代替ルートの検討・設計を進めます。

【取組内容】

Ⓝ南金目供給弁室等送水管マクロセル腐食防止装置の設置

Ⓝ送水管路線（上粕屋－南金目間）の詳細設計 他

エ 浄水場更新

748万円

- ▶浄水場の更新に向け、新たな浄水処理方式等の検討を行います。

【取組内容】

Ⓝ西長沢浄水場の更新に向けた検討

④ 施設の維持管理性の向上

7,391万円

- ▶外部施設の遠隔監視等、維持管理業務の効率化等を目的とした施設改良に取り組みます。

【取組内容】

給水地点等への監視カメラの設置

Ⓝ西長沢浄水場・潮見台配水池等連絡管等の基本設計 他

2 自然災害や多様なリスクへの対応強化の取組み

20億8,349万円(18億7,208万円)

自然災害や事故に備えた対策を着実に進めるとともに、組織対応力の強化や関係者との連携強化を図ります。

① 自然災害に備えた対策

事故等の多様なリスクへの対策

20億7,627万円

ア 地震対策

13億887万円

- 施設耐震化事業基本計画に掲げた令和5年度末での主要施設の耐震化率100%を目標に、耐震補強工事を引き続き実施します。

【取組内容】

西長沢調整池の耐震補強(国庫補助事業)

⑨伊勢原調整池の耐震補強(国庫補助事業) 他

※【令和4年度末の耐震化率】

浄水施設100%、ポンプ所100%、送水施設(調整池)73.5%

イ 浸水対策

2,373万円

- 取水施設の浸水被害を防止するため、開口部の改良や防水壁等の設計を進めます。

【取組内容】

⑨飯泉ポンプ場本館他開口部の改良

⑨飯泉ポンプ場及び社家ポンプ場防水壁等の詳細設計

ウ 停電対策

7億4,367万円

- 停電時における用水供給の継続を図るため、相模原ポンプ場導水ポンプ設備等の整備事業において、非常用発電設備等を更新します。

【取組内容】

相模原ポンプ場導水ポンプ設備等の更新

⑨相模原ポンプ場監視制御設備等の改良

② 非常時における組織対応力の強化

非常時の応急復旧における協力体制の構築

722万円

- 非常時の対応力を強化するため、大規模な地震の発生等を想定し、相互応援協定に基づく他水道事業体との合同訓練等を実施します。
- また、新型コロナ等の感染症や様々な災害・事故の発生リスクを踏まえ、既存のマニュアルや対策の見直し等に継続して取り組みます。

【取組内容】

他水道事業体との訓練等の実施

新型コロナウイルス感染症への対応

3 経営基盤の強化の取組み

3億1,430万円(2億629万円)

将来を見据えた財政運営と事業環境の変化に応じた事業運営に努めるとともに、事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくりを進めます。

① 長期的な視点に立った財政運営

- 5事業者では、「水道施設の再構築」について、令和4年度末を目途に施設整備の具体化に向けた協議を進めています。この再構築の事業展開により、企業団では、施設整備が増加し、事業費も増大するため、長期的視点に立った財政運営に努めます。

② 事業環境の変化に応じた事業運営

2億613万円

ア 脱炭素化に向けた取組み

1,011万円

- 二酸化炭素排出量の削減に継続的に取り組むための対策・検討を進めます。

【取組内容】

① 上流水利権の有効活用（再掲）

※金額は1-②-イを含む

② 太陽光発電の新設に向けた検討

※金額は1-③-イを含む

③ 脱炭素化に向けた調査・検討

CO₂フリー電気「アクア de パワーかながわ」の利用

イ 官民連携の取組み

1億9,602万円

- 伊勢原浄水場の運転維持管理業務の委託範囲を拡大するとともに、受注者と共同して運転管理の効率化のため、スマート化やICT技術を活用した検討等を進めます。

【取組内容】

伊勢原浄水場の運転維持管理業務委託の拡大及びスマート化の検討等

③ 人材の確保・育成

1,550万円

- 水道施設の再構築をはじめ、実施計画に定める取組みを担う職員の育成に向け、職員の能力開発や技術継承を推進するための研修を計画的に実施します。

【取組内容】

事業環境の変化を踏まえた職員研修の実施

④ 創造力・活力のある職場づくり

9,267万円

ア DX推進に向けた取組み

9,267万円

- 業務効率の向上や新しい働き方の実現に向け、DXを計画的かつ円滑に進めるための実行計画の策定等に取り組めます。
- また、リモートワーク等における通信環境を改善するため、ネットワークの増強とセキュリティ対策を推進します。

【取組内容】

① DX実行計画の策定

働き方見直し等のためのネットワーク環境の整備 他

イ 職場環境の整備

- 働き方見直し等を推進するため、本庁舎の旧食堂スペース等を有効活用し、会議スペースやテレワークスペースを設置します。

【取組内容】

① 本庁舎改修による庁舎レイアウトの変更

※金額は1-③-イを含む

※ 令和4年度予算における主な取組みを示したものであり、計数が一致しない場合があります。

参考 かながわ広域水道ビジョン・実施計画と予算の関係

かながわ広域水道ビジョンは、概ね30年後における企業団の「将来像」と、その実現に向けた「取組みの方向性」を示したものです。

また実施計画は、この「取組みの方向性」について10年後に到達すべき状態を目標として整理したうえで、5年間で取り組む具体的な施策と実施スケジュールを示したものです。

かながわ広域水道ビジョンに示す「将来像」の達成に向けて、実施計画に示す施策を着実に進めていくため、予算を精査し、費用を計上しています。

<参考> かながわ広域水道ビジョンと予算の関係

【概ね30年後の将来像】

企業団と構成団体水道事業者全体における最適な水道システムの実現に向けて、施設整備の推進と経営基盤の強化により、広域水道としての強みを最大限に発揮している

「概ね30年後の将来像」実現に資する実施計画の着実な実施

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理

より安全で効率的な水道システムに向けた施設整備と運用

施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新

II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

自然災害や事故に備えた対策

組織対応力の強化及び関係者との連携強化

III 経営基盤の強化

将来を見据えた財政・事業運営

財源確保

事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくり

予算の重点配分

□ : ビジョンにおける「取組みの方向性（3つの柱）」

□ : 実施計画の実施施策

お問い合わせ先

神奈川県内広域水道企業団

財務課長	菱山	電話 045-363-2465(直通)	予算全般に関すること
職員課長	佐藤	電話 045-363-1829(直通)	組織・人員に関すること
企画調整課長	入江	電話 045-363-2542(直通)	ビジョン・実施計画に関すること
事業計画課長	小金	電話 045-363-2397(直通)	施設整備に関すること